

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社DNPファインオプトロニクス 三原西工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田西町小原73-47

(3) 業種

印刷業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は2023年度を基準年度とし、2024年度から2026年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

クリーンコンバーティング技術を核に、多様なマーケットにむけて、機能性フィルムを供給している我々は、人類の繁栄と未来を守るため、環境方針を定め、環境マネジメントを事業プロセスに統合して取り組む

1. 事業活動の継続的发展を図るため、環境に与える影響を的確に捉え、環境目標を定め、定期的に見直し、計画し、実行する。
2. 持続可能な未来のために、資源を有効に活用し、環境汚染の予防に努め、気候変動の緩和と生物多様性の保全につながる活動に努める
3. 事業活動に適用される環境に関する法規と条例および利害関係者との取決めなどを遵守する。
4. 環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境パフォーマンスの向上に努める。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 令和 5（2023）年度	直近年度 令和 5（2023）年度
二酸化炭素	32477.5	32477.5

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成（ ）年度	直近年度 令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成（ ）年度	直近年度 令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 5 (2023) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 5 (2026) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	32477.5	10266.4	0.3165	3.0%	31503	102626	0.3070
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	15494.9	10266.4	0.1510	3.0%	15030	10266	0.1465
目標設定の考え方	目標を基準年度(2023年度)原単位換算年1%削減とし、2026年度までの3年間で3%削減を目標とする						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	エネルギーの合理的な使用及び自主管理を確立する	原単位年1%削減	・ 照明LED化・自動点灯 ・ 散水装置可動による夏季の空冷チラー装置使用効率向上 ・ 脱臭装置最適化運転 ・ 廃熱ボイラ導入
2	設備保全管理の実施によりエネルギーロス削減及び生産阻害防止を図る	原単位年1%削減	・ 定期メンテナンスによる設備トラブル削減。 ・ 定期保全計画の作成および実行。
3	エネルギー使用量の傾向管理		・ エネルギー原単位グラフ、電力・ガスMAPの作成
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物排出量原単位（廃棄物排出量／生産高）の削減	2023年度比 年1.0%削減	・ シュレッダーゴミの削減（不要印刷の禁止） ・ 廃インキ削減
2	不要物発生量の削減	2023年度比 年1.0%削減	・ 清掃方法見直しによるウエス使用量の削減
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制

